

2025 年 11 月 11 日

2026 年 1 月 26 日追記

インテュイティブサージカル合同会社 Equivalency Certification Program
開始のお知らせ

ロボット支援手術の安全性が確認され適応症例が増加し、多くの施設でロボット支援手術の実施、また各施設での経験も蓄積されています。そこで、Certification 取得のためのトレーニングコース受講とは別の方法として、既に諸外国で導入されている Equivalency Certification Program の国内導入に向け、日本内視鏡外科学会でパイロット導入を実施し、安全性を確認いたしました。こちらは製造販売会社が実施するトレーニングの受講の替わりに、条件を満たした施設でのトレーニングで Certification を取得できるというものです。

2026 年 1 月 1 日より、まずは消化器外科領域と泌尿器科領域において国内での運用開始となりましたのでお知らせいたします。また、2026 年 2 月 1 日から婦人科領域でも Equivalency Certification Program 開始となりました。(2026 年 1 月 26 日下線箇所追記)

実施条件や手順等は、各領域の案内をご参照ください。こちらに沿った運用をお願いいたします。各施設にて導入にあたってのご不明点がございました場合は、インテュイティブサージカル合同会社へお問い合わせください。

一般社団法人 日本内視鏡外科学会

理事長 北川 雄光

ロボット支援手術検討委員長 絹笠 祐介